

JAniCA 第7回社員総会議事録

平成25年6月23日午後2時30分、三鷹産業プラザにおいて、社員総会を開催した。

1 議長選任

代表理事井上俊之が議長席に着き、定款の規定により議長を務めたい旨、会場に
回ったところ、一同異議なく承認された。

議長は、議長席について開会を宣し、次のとおり定足数に足る社員の出席があっ
たので、本総会は適法に成立した旨を告げた。

当法人の社員総数	1 2 5 名
当法人の議決権総数	1 2 5 個
出席社員総数	2 0 名
出席社員の議決権総数（委任状によるものを含む）	6 1 個

報告事項

2 議長は、大坪英之事務局長らをして、平成24年度事業について詳細に報告させた。
これに対し、出席者との間で大要、以下の質疑応答があった。

① 質問：Webサイトの議事録更新が滞っている。

回答：なるべく早急に対応する。

② 質問：マイクロ助成とはどのような制度か説明して欲しい。

回答：アニメ業界にとって意義のある取り組みについて、10万円を上限として
JAniCAが資金援助を行う仕組み。現在は試験運用中だが、間もなく公開
して一般からの申込も受け付ける見込み。理事会・事務局のマンパワー
不足を補う意味合いもある。

③ 質問：外部からの講師派遣要請について、報酬無しとされているものについて
も謝絶せず、会員に対して照会すべきではないか？

回答：アニメーターに対して適切な報酬が支払われるべきとの観点から、この
ような依頼については対応しないというのが現理事会の立場である。

④ 質問：アニメミライについて、昨年選ばれた「アルヴ・レズル」はライトノベ
ル原作があったと思う。原作の有無に関するアニメミライのレギュレー
ションについて説明して欲しい。

回答：マンガ・ライトノベル原作は不可、絵本や童話などについては個別判断
とされている。「アルヴ・レズル」の場合、応募時にはライトノベル等は
発刊されておらず、講談社とキングレコードが主催する新人脚本賞の受

賞作ということであった。諸事情を踏まえ、当初は選に漏れたがその後、プリプロ締切直前の2012年7月末になって、採択先であった株式会社ぴえろから突然、自社都合による辞退申し入れがあった。アニメミライ事務局としては、強く翻意を促したが応じていただけなかったため、やむなくこれに代わる再委託先を探さなければならないこととなり、文化庁、選定・評価委員会の主査・副査らとも協議の上、自主制作を開始していた有限会社ゼクシスの「アルヴ・レズル」に参加をお願いし、これを請けていたという経緯がある。

- ⑤ 質問：アニメミライ2013の会計報告がされていない理由について教えて欲しい。
回答：文化庁による確認が未了のためである。次回総会等、次の機会に説明させていただく予定である。
- ⑥ 質問：アニメミライの報告書について、PDF等でインターネット公開を行う予定は無いのか。
回答：報告書の公開は、東西の国会図書館への納本を通じて行っている。Web等での公開は、文化庁の他報告書の取扱いとの平仄や、海外競争先への情報流出を防止する等の観点から、現在のところ行う予定は無い。

決議事項

3 第1号議案 決算報告書承認の件

議長は、事業報告書及び当期（自平成24年5月1日至平成25年4月30日）の決算に関する次の書類について説明したのち、監事の報告を求めた。

監事桶田大介は、次の書類を綿密に調査したところ、いずれも正確かつ適法であることを認めた旨を報告した。

これに対し、出席者との間で大要、以下の質疑応答があった。

- ① 質問：損益計算書の地代家賃の細目について説明して欲しい。
回答：平成25年度の若手アニメーター等人材育成事業に関する4月及び5月の倉庫兼事務所の賃料。同年度の予算成立が5月15日であったため、同事業会計に計上できなかったもの。精算方法については後日、調整予定。
- ② 質問：損益計算書の売上高について、説明をして欲しい。
回答：非課税とあるものは会費収入、課税とあるのは白書の売上等である。
- ③ 質問：理事者等、運営に従事されている者について報酬の支払を検討すべき。
回答：現在は個別の業務単位での支払を行うよう努めている。ご意見については検討させていただきたい。
- ④ 質問：損益計算書の売上高（非課税）について、端数が生じる理由について説明して欲しい。

回答：会費徴収のために利用しているサービス使用料が差し引かれるため。

上記質疑応答の上、議長が第1号議案について審議を求めたところ、反対1名を除き、満場一致をもってこれに賛成した。

よって、議長は、第1号議案は原案のとおり承認可決された旨を宣した。

1. 貸借対照表
2. 損益計算書

報告事項

4 議長は、森田理事をして、今後の運営方針(案)について説明させた。

これに対し、出席者との間で大要、以下の質疑応答があった。

- ① 質問：アニメーターや演出の経済環境改善のため、具体的にどのような活動が行われているのか説明して欲しい。

回答：相手方のあることなので具体的な記載は控えているが、制作会社のプロデューサーらに対して働きかける等、粘り強く取り組んでいる。また、JAniCAとしても制作会社とアニメーター・演出とのマッチングをサポートする取り組みを行うべく、検討を始めている。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後4時、閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長、出席理事及び監事が次に記名押印する。

平成25年6月23日

一般社団法人日本アニメーター・演出協会社員総会

議長・代表理事	井上 俊之	印
出席理事	井上 鋭	印
出席理事	笹木 信作	印
出席理事	本間 晃	印
出席理事	森田 宏幸	印
出席理事	ヤマサキ オサム	印
監事	桶田 大介	印